

# なぜアメリカの貿易赤字は縮小しないの？

経済調査部 エコノミスト 奥脇 健史 (おくわき たけし)

## 世界最大の貿易赤字国アメリカ

2017年のトランプ大統領就任以降、アメリカは自国の抱える世界最大の貿易赤字を問題視し、相手国に対して貿易体制の見直しを求めました。その結果、日本とは日米貿易協定が締結されるなど、各国は対応に追われています。特に中国との貿易摩擦の激化は世界経済にとって最大のリスクであり、注目が集まります。貿易摩擦の背景には巨額の対中貿易赤字の存在があり、関税引き上げなど強硬姿勢をみせています。そんなアメリカですが、貿易赤字は縮小しているのでしょうか。

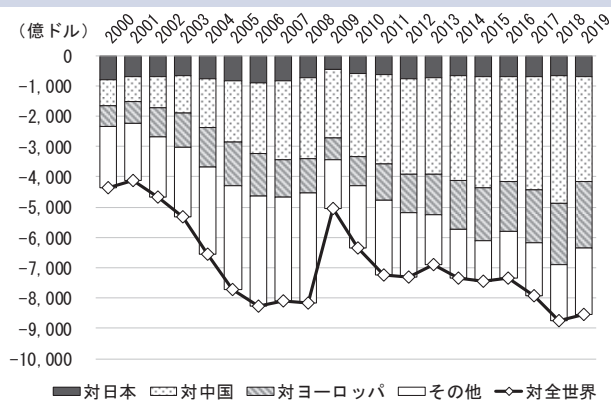
## トランプ大統領就任以降も高水準の貿易赤字

結論として、トランプ大統領就任以降も財の貿易赤字は縮小しておらず、17年、18年には赤字幅を拡大させています(資料1)。19年は関税の影響から対中貿易赤字は前年比▲17.6%と大幅に減少しましたが、全体では前年比▲2.5%と小幅な減少にとどまり、トランプ大統領就任前よりも高い水準が続いています。

その背景には好調なアメリカ経済の存在があります。実質GDP成長率は2%台と堅調に推移し、その成長を支えているのは個人消費などの国内需要です。旺盛な国内需要にあわせて、11年以降、財の輸入額は2兆ドルを超える高水準が続いています。更に17年、18年はドル高や関税引き上げに伴う駆け込み的な輸入が加わることで、輸入額はトランプ大統領就任前の水準を上回り、貿易赤字が拡大しました。また、19年は関税の影響から対中輸入額は▲16.2%と大幅に減少しましたが、中国の代わりに日本やメキシコ、東南アジアの国々などからの輸入が増加し、全体の輸入額は前年比▲1.7%の小幅な減少にとどまりました(資料3)。その結果、19年も引き続き輸入額は輸出額を大幅に上回り、8,000億ドルを超える貿易赤字となりました。

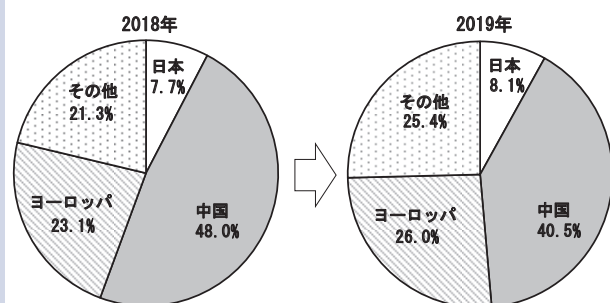
これらの要因により、トランプ大統領就任以降もアメリカは高水準の貿易赤字が続いています。

### 資料1 アメリカの貿易収支(財)の推移



(出所)米センサス局より第一生命経済研究所作成

### 資料2 アメリカの貿易赤字(財)の国・地域別割合



(出所)米センサス局より第一生命経済研究所作成

### 資料3 アメリカの輸入額(財)の国・地域比較(18年、19年)

(億ドル)				
	2018年	➡	2019年	前年比(%)
対世界	25,408	➡	24,985	▲ 1.7
対中国	5,397	➡	4,522	▲ 16.2
対日本	1,424	➡	1,436	0.9
対メキシコ	3,461	➡	3,581	3.5
対カナダ	3,188	➡	3,197	0.3
対ベトナム	492	➡	667	35.6

(出所)米センサス局より第一生命経済研究所作成